

オニコウベカツ2018大会規定

ゼッケン

- ヘルメット前面または側面に粘着テープを貼り、マジックでゼッケン番号をなるべく大きく書くこと。

ナイクオフ

- 原則として第1ナイクオフを使用する。但し、天候その他により、第2ナイクオフ、花立ナイクオフを使用する場合もある。ナイクオフはフリーナイクオフとし、ナイクオフゾーンに並んだ順番とする。
- ナイクオフを取り止め、失敗等の場合でもすぐに再セット可能な場合（TDの判断）はやり直しができる。
- 2回失敗した場合、1分以内にT.0でできなかった場合はT.0ゾーンを速やかに空け最後尾に回ることに。他の選手のセツトアップに積極的に協力すること。
- 第1ナイクオフはコースが曲がっている上に風が強いので、キャノピーがしっかりと立ち上がったことを確認してから走ってください。飛び乗りはツリーランにつながりません。

ランディング

- 指定ランディング等の指定地以外に降りた時はそのフライト失格とする。但し、同時進入を避けるためランディングデイレクターの指示によりハング・ランディングに降りた時はこの限りでない。（同時進入にならないように早めに他機との高度調節をすること）
- 他のフライトヤーのランディングを故意に邪魔したものはそのフライトを失格とする。
- 危険なランディングとデイレクターが判断したときはそのフライトを失格とする。
- ランディング禁止場所（ゴルフ場、放牧地）に降りた場合は大会失格とする。悪悪の場合、車両に気をつけて路上ID。

警告

- 大会期間中の危険行為、大会の妨害に対しては大会失格とする場合がある。

大会の成立

- 参加人数と同数のフライト本数、またはオートプッシュしていた時間が参加人数×3分を越えた時をもって大会成立とする。
- 原則として次の場合、競技を中断または中止とする。
 - * 風速が毎秒6mを越える場合
 - * 風向きがナイクオフにおいてアローの場合
 - * その他競技委員長が危険と判断した場合

リフライト

- リフライトは何回でも可。但し、フライト本数の少ない者が優先する。

抗議、異議

- 業計ミス以外は受け付けない。

その他

- ゴンドラ、リフト、高圧線等を越える時は高度に十分注意すること。
- 競技中無線は常に傍受していること。

みんなが協力、楽しく、安全に

競技規定

タスク：指定パイロンレースとする（状況により変更もあり得る）。

○パイロン

設定されたパイロン（1ヶ所）のうち、大会事務局が指定した周回をする。

- GPS、デジカメによる判定とパイロンを中心としてシンダー半徑200m以内とします。（赤山頂はシンダー半徑400mとする）
- 各自が自身で申告したGPSログをもって判断する。

＜パイロン＞

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 大柴物屋台 | 2. ゴンドラ山頂駅 | 3. コルグラン（赤屋根） |
| 4. 小柴リフト降り場 | 5. 花立峠駐車場 | 6. 三角小屋（赤屋根） |
| 7. T字路（放牧場） | 8. 発電所（茶屋根） | 9. T字路入口民家 |
| 10. トウエ（コツバラ乗場） | 11. カムロ山頂 | |

* コンデインジョンにより除外するパイロンがある。

○ランディング

- 指定地（ゴールライン）を通過した時をゴールとするが、必ず指定ランディングに降りる事。
- 指定ランディング以外に降りた場合は、失格となります。（同時進入等を選択する為、ランディングデイレクターの支持ある場合を除く）

○申告（GPS等の提出がない場合も必ず帰着申告をすること）

- 選手自身が最終フライト1本を、申告用紙とGPSと一緒に提出する。
- 申請したGPSログがアウトとなっても再申告はできない。

○得点計算

- 申告用紙に基づいて判定する。
- その日の総得点1位を1,000点とし、その係数をかけてその日の点数とする。
- 2日間の点数の合計によって順位を決定する。

○その他

競技規定に記載されていない事については競技委員長の判断による。天候によっては、別競技を行う場合もある。フリーフライトはリポート提出後しか認めない。